



# 松ヶ崎だより

第2回  
学校評価特集号

京都市左京区松ヶ崎堀町 40  
TEL.075(781)3380 / FAX.075(781)3252  
<http://cms.edu.city.kyoto.jp/weblog/index.php?id=108201>



令和 7 年 3 月 7 日  
京都市立松ヶ崎小学校  
校 長 服 部 恵 介

子どもを共に育む  
京 都 市 民 憲 章



京都はぐくみ憲章  
社会のあらゆる場で実践し、  
行動の輪を広げましょう！

## 令和 7 年度に向けて

第2回学校評価アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。本号では、アンケートの結果と、結果をもとにした振り返りについてダイジェストでお伝えします。

＜アンケート調査の概要＞ ※アンケートフォームによるオンラインでの実施

対象	調査期間	対象数	集計数（回答率）
保護者	11月25日（月）～12月2日（月）	341名	128名（37.5%）
子ども	11月25日（月）～12月6日（金）	341名	310名（89.4%）

＜アンケート結果をもとにした振り返りの流れについて＞

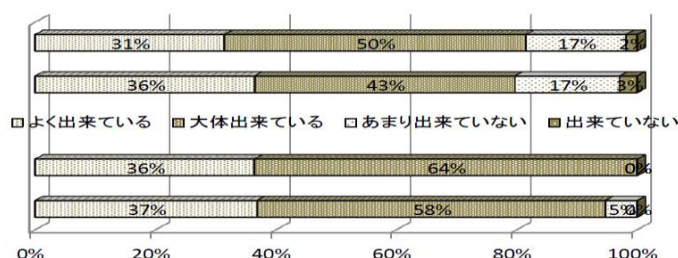
第2回のアンケート結果をもとに、2学期の取組について教職員による振り返りを行いました。

振り返りでは、①「確かな学力」の育成、②「豊かな心」の育成、③「健やかな体」の育成の3つについて、アンケートの結果から見えてきた成果と課題を出し合い、今後に向けての提案を考えるという手順で行いました。

（R6後…令和6年度後期、R6前…令和6年度前期、保…保護者、子…子ども、教…教職員 を表しています）

## ルールの定着・学び合いの基盤となる学習規律

子	チャイムで学習が始められるように準備をして待っている。	R6後 R6前
教	授業の始めと終わりなど、時間を守っている。	R6後 R6前



＜よかったこと・続けていきたいこと（○）／ 困ったこと・問題点（●）／ 今後試していくこと（□）＞  
○低学年段階で学習規律の定着ができています。中学年や高学年で学習に向かうための基礎となっている。

○全クラス落ち着いて学習に向かうことができています。

●学力の平均は高いが、学習に困難を抱える子もおり、学年が上がるにつれ差が大きくなる。

□これまで積み重ねてきたことを継続できるようにする。

□学習に困難を抱えている子のことを意識し、個別最適な学びを実現していく。

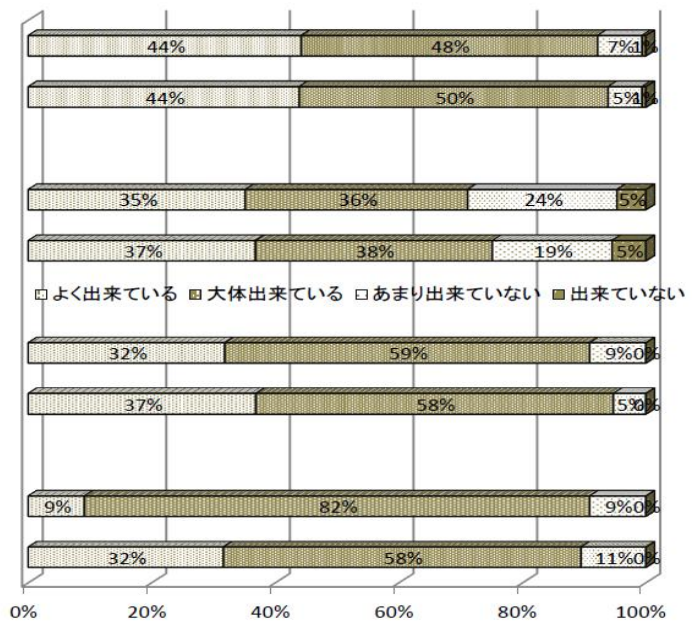
## 学び合い、高め合う授業

子	話を聞く時は、相手を見て、最後まで静かに聞いている。	R6後
		R6前

子	発表するときは、友達の発表につけ足したり、つなげたりしている。	R6後
		R6前

教	「相手を見て、最後まででき」ことの指導を徹底している。	R6後
		R6前

教	日常の授業で、子どもたちの考えを深め、その時間の目標に向かう交流活動を行っている。	R6後
		R6前



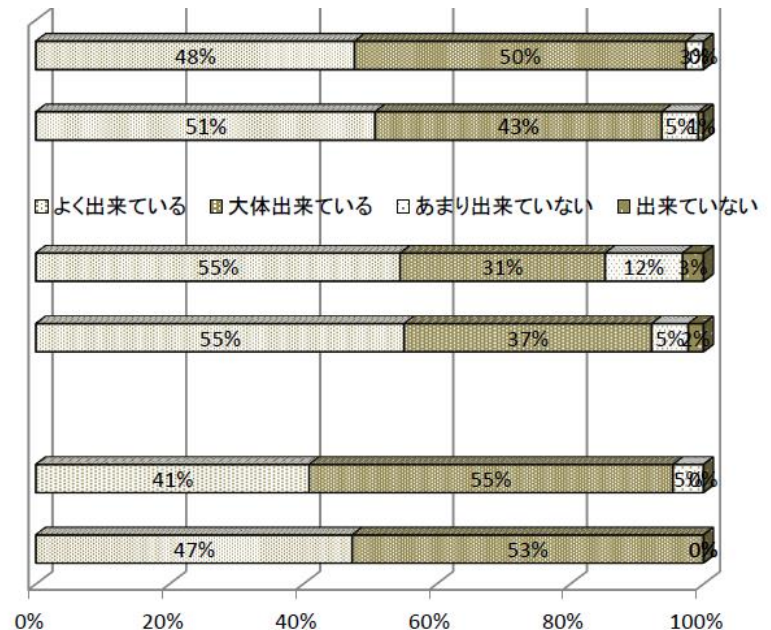
- <よかったこと・続けていきたいこと (○) / 困ったこと・問題点 (●) / 今後試していくこと (□) >
- 子どもの学習意欲が高く、指導したことが結果として表れやすい。家庭・地域のサポートが手厚い。
  - 意見が言いやすく、聞いてもらえるという安心感のある学級経営ができている。
  - 学年が上がるにつれて学習内容が難しくなるので、学習が楽しいと感じられない子の割合が増える。
  - 友達の意見に付け足したり、つなげたりする授業スタイルが十分に実践されていない。クラスによる差がある。
  - 学級の安心感を高めることで、楽しく学ぶための土台を作る。
  - 子ども同士がつながる授業を意識して実践していく。

## 子どもの行動への価値づけ

保	学校の教員は、子どもの良い所やがんばっている所を認め、ほめている。	R6後
		R6前

子	先生は、私のよいところやがんばっているところを、ほめてくれる。	R6後
		R6前

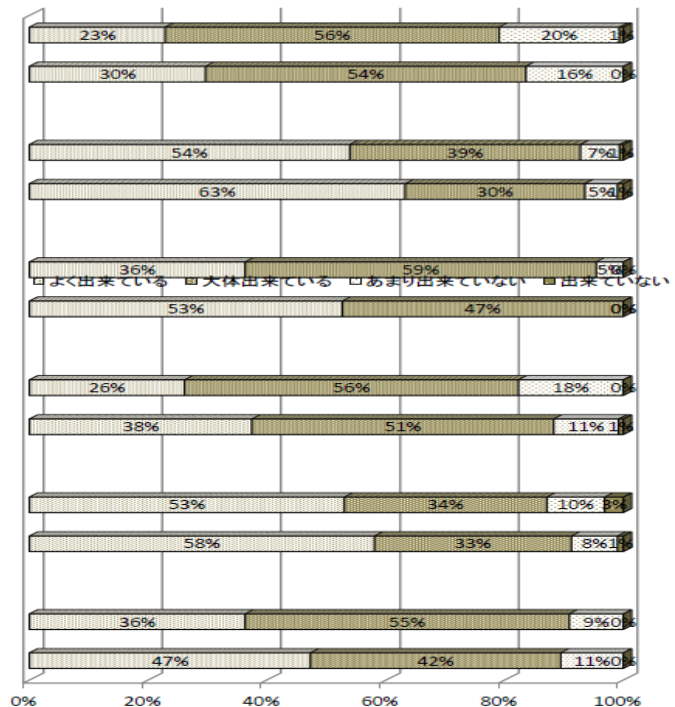
教	子どもの良い所やがんばりをほめ、価値を伝えている。	R6後
		R6前



- <よかったこと・続けていきたいこと (○) / 困ったこと・問題点 (●) / 今後試していくこと (□) >
- 自分の行動を素直に反省し、次の行動に生かそうとする子どもが多い。
  - 上級生が下級生のことを思いやる「たてわり活動」で異学年集団での思いやりが見られた。
  - 「みんなと心地よく生活する」という公共の場での行動を振り返られるように、声掛けをしたり、アンケートの項目に取り入れたりする。

## はきもの・あいさつ

保	子どもは、はきものをそろえたり、本やボールを元の場所に片づけたりするなど、みんなのことを考えて物を使っている。	R6後
		R6前
子	くつ、トイレのスリッパをそろえたり、本やボールを元の場所に片づけたりするなど、みんなのことを考えて物を使っている。	R6後
		R6前
教	はきものをそろえたり、本やボールをもとの場所に片づけたりするなど、みんなのことを考えて物を使うように指導している。	R6後
		R6前
保	子どもは、自分からすすんであいさつができる。	R6後
		R6前
子	誰に対しても、自分から進んであいさつしている。	R6後
		R6前
教	自分から挨拶をするように指導している。	R6後
		R6前



<よかったこと・続けていきたいこと (○) / 困ったこと・問題点 (●) / 今後試していくこと (□) >

○こだわってきた「あいさつ」の習慣が全体に浸透してきている。

○学校全体が落ち着いており、靴箱の靴はきれいにそろっている。

●トイレのスリッパの乱れが見られる。

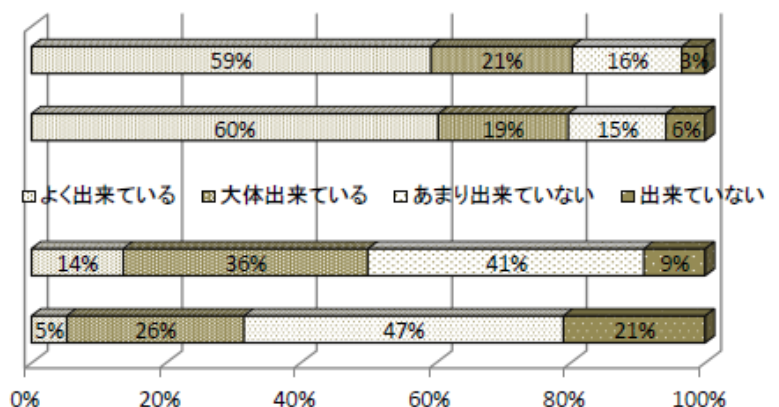
●公共物への意識が低い子もいる。

□計画委員会・高学年を中心に、あいさつを励行する活動を行う。

□日々のあいさつの様子、はきものの様子をしっかりと観察し、声掛けを続ける。

## 健やかな身体

子	外遊びなどで、進んで体を動かしている。	R6後
		R6前
教	いろいろな運動遊びを子どもに教えている。	R6後
		R6前



<よかったこと・続けていきたいこと (○) / 困ったこと・問題点 (●) / 今後試していくこと (□) >

○休み時間の運動場割当てを決めていることで、外で遊べる時間には体を動かして遊ぶ子が多い。

●猛暑のため外に出られない事が多くあった。

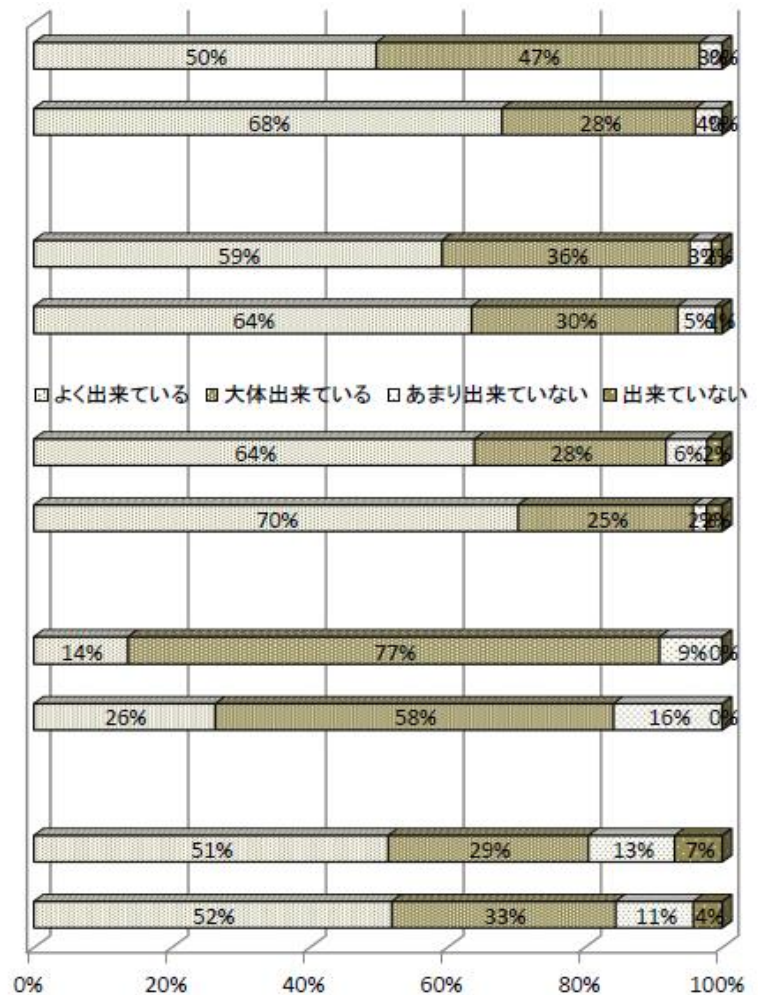
●教室でタブレットPCを使った活動をしていて外に出て遊ばない子がいた。

◎外遊びに行くきっかけ作りとして、係活動で多様な遊びを提案する。

◎休み時間の児童の様子を見て、外遊びしない子には担任が声掛けをしたり、一緒に遊んだりする。

## 楽しい学校・安心できる学校

保	子どもは、学校が楽しいと感じている。	R6後
		R6前
子	学校へ行くのが楽しい。	R6後
		R6前
子	学校は安心できる場所である。	R6後
		R6前
教	「自己存在感を与える」手立てを日常の授業の中で行っている。	R6後
		R6前
子	自分には良い所があると思う。	R6後
		R6前



<よかったこと・続けていきたいこと (○) / 困ったこと・問題点 (●) / 今後試していくこと (□) >

○自分に良い所があると思える子が多い。

○友達の良い所を認め、互いの良さを出し合って協力する姿が見られる。

●学校に不安を感じる子、不登校傾向の子もいる。

○高学年は下級生のためという思いが大きく、たてわり活動で積極的に活動することができている。

○学校の雰囲気が全体的に落ち着いており、一人一人の子どもが穏やかに過ごすことができている。

●自分の良い所を自覚していない児童が2割いる。

□教職員が一人一人の良さを認め、そのことを伝えていく。

□温かい人間関係が築かれる学級経営を心がける。

## オンラインアンケートの課題(回答率の低さ)

ご多用の中、アンケートへのご協力、本当にありがとうございました。自由記述について、お答えできるものは個人懇談の場などでもお伝えしました。いただいたご意見も参考にして、今後の教育活動を進めてまいります。

今回、アンケートの回答率が低かったことを学校運営協議会でもご指摘いただきました。回答の機会を逸することのないよう、案内・回答方法について検討して参りたいと思います。令和7年度の学校評価への協力をよろしくお願いいたします。